

平成24年 水稻管理情報

No.6 (8月1日発行)

1. いもち病に注意!

7月に入り竹田市内で葉いもちが多発している圃場が数件ありました。とくに早生品種（ひとめぼれ、コシヒカリ）は出穂前なので、いもちが散見されたら防除が必要です。基幹防除にかかわらず、必要により追加防除を行ってください。

薬剤の例

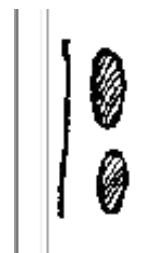
カスラブスタークル粉剤 3～4 kg/10a

ブラシン粉剤 3～4 kg/10a

とくに、止め葉のいもちは穂に移りやすいので圃場をよく観察し防除してください。

2. 高温乾燥による紋枯病の発生に注意!

1ヶ月予報によると晴れの日が多くなる見込みです。高温乾燥が続くと紋枯病が多発する恐れがあります。圃場をよく観察し防除してください。とくに昨年発生した圃場では病原菌が残っており、より発生しやすい環境にあるので要注意です。



楕円形の病斑が
下位葉鞘から発生

※へり防除を委託している方は、へり防除の薬剤を考慮して、必要な追加防除してください。

J Aおおいた竹田事業部 農産課 6 3 - 4 9 9 4
豊肥振興局農山村振興部集落・水田第二班 6 3 - 1 1 7 2